

別表（文化財建造物等に対する伝統的工法）

工法の種類		伝統的工法の例
木		<ul style="list-style-type: none"> ・ 手作業で加工した継手、仕口を用いた工法 ・ 矧木、埋木を用いた工法 ・ 規矩術に基づき加工及び組み立てる工法 ・ 伝統工具としての鑿や鉋等を用いて仕上げる加工法
屋根	瓦葺き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本瓦である平瓦、丸瓦及び棧瓦を使用し、屋根の形状及び下地に馴染みよく葺き上げる工法
	こけら・檜皮葺き・茅葺き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 檜の本皮を屋根に葺けるような形に加工する工法 ・ 榎・杉等の原木を屋根に葺けるような形に加工する工法 ・ 檜皮、榎・杉等の割板を使用して、竹釘で打ち止めながら屋根面を葺き上げる工法 ・ 茅、葭等を束ね、藁縄で縛りながら屋根面を葺き上げる工法
	板金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属類を槌・たがね・はさみ等を用いて折り曲げ、あるいは、打ち出して加工し、屋根下地面や軒先になじみよく、また、格好良く取り付ける工法
石		<ul style="list-style-type: none"> ・ ビシャン、小叩き等、伝統工具を用いて表面を仕上げる工法 ・ 石目を見極め、手作業による石割工法 ・ 多層の石塔や宝篋印塔・無縫塔や燈籠の組み立て工法 ・ 参道等の石敷き工法
左官		<ul style="list-style-type: none"> ・ 木、竹及び土により、木舞下地～荒壁～中塗～上塗の各工程を要する日本壁工法 ・ 磨き、引き摺り等の上塗り仕上げ工法 ・ 漆喰、水捏ねの色壁を用いる工法
塗装	彩色等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔料（鉱物等の自然素材を粉状にしたもの）を膠で溶いて塗料とし、木部表面に塗り上げる工法 ・ 胡粉、緑青、朱等の複数の材料を用い、絵画や模様を描く技法 ・ 既存彩色面が剥離しないよう膠水等を用いて剥落止めをする工法
	漆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木地から 20 以上の工程を経て塗り上げる漆塗り工法 ・ 既存漆の破損状況に応じた繕い工法
鋳金具		<ul style="list-style-type: none"> ・ 社寺等で用いる鋳金具の製作におけるナナコ打ち出し、鍍金、箔押し等の工法
畳		<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲藁を編んで締め固める畳床製作 ・ 藎草を麻糸で編んで、引き通し、中継ぎ等、様々な品質の製品を作る畳表製作技法 ・ 絹、木綿、麻等で編まれた生地を、紋合わせ等を行いながら畳縁に縫い付ける工法 ・ 纏欄縁、大紋縁、小紋縁等の縁をもつ畳を模様を合わせて敷き込む工法
木製建具		<ul style="list-style-type: none"> ・ 繊細な仕口を駆使し、釘等を使用せず堅固な枠を組み上げる工法 ・ 部戸・舞良戸・棧唐戸・襖下地・障子等の伝統的な形式の建具製作および修理技法
表具		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下地貼り、蓑貼り、浮け貼り等、何層にも下張りを施した後、絵画等が描かれた本紙を粘着性のおとなしい古糊等を駆使し、張り上げる工法
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ その他伝統的工法